

CONTENTS

甲状腺の病気

リハビリテーション科のご紹介
金田病院・常勤医師のご紹介
コンシェルジュ日記

情報発信 ステーション

(財)日本医療機能評価機構認定病院
(社)日本病院会 人間ドック・
健診施設機能評価認定病院

特定医療法人 緑社会

金田病院

〒719-3193 岡山県真庭市西原63
TEL (0867)52-1191 FAX52-1917
<http://www.kaneda-hp.com>

甲状腺の病気

院長 金田 道弘



甲状腺は首の喉^{のど}ぼとけの

下寄りにあり、

甲状腺ホルモンを作っています。

甲状腺の病気は、形の異常と

働きの異常の二つに大きく

分けることができます。

まず形の異常には、全体が大きくなる「びまん性甲状腺腫」と、

一部にしこりができる「結節性甲状腺腫」があります。

また働きの異常には、

甲状腺ホルモンが足りなくなる「甲状腺機能低下症」と、

甲状腺ホルモンが多過ぎる「甲状腺機能亢進症」があります。

びまん性甲状腺腫の代表的な病気は橋本病とバセドウ病です。いずれも男性よりも女性に多くみられます。「橋本病」は、甲状腺機能低下症になる場合があり、眠気、寒がり、疲れやすさ、便秘、体重増加などの症状がみられることがあります。「バセドウ病」では、甲状腺機能亢進症になり、暑がり、汗かき、異常な喉

の乾き、手の震え、イライラ感、体重減少等がみられます。これらの症状は、更年期障害や自律神経失調症の症状とよく似ているため注意が必要です。結節性甲状腺腫には、腺腫様甲状腺腫、良性腫瘍がん等があります。これらはしこりを触る以外の症状は何も無いことがほとんどです。

人間ドックや健康診断で見ても

甲状腺の病気は自分で気付かないことが多く、初めての人間ドックや健康診断で見つかることも少なくありません。昨年1年間に当院の人間ドックを受診された1,893名の皆様の中で、約11%、203名の方に甲状腺腫が認められ、その内甲状腺がんと診断した方が4名おられました。

甲状腺の病気と言われたら

大部分は生命に関わることはないのですが、まず慌てないことです。血液検査と超音波検査でほぼ診断できます。がんの可能性がある場合は、細い針で甲状腺の細胞を吸い出して検査をする穿刺吸引細胞診を行います。甲状腺の病気の治療には薬での治療や手術等がありますが、治療を必要としないことがほとんどです。必要であっても大部分が薬での治療です。手術の適応は、甲状腺がんと診断された場合や、腫瘍が良性であっても非常に大きい場合等です。甲状腺がんは経過がゆるやかで、手術をすれば予後の良いものが大部分です。

首の喉ぼとけの下寄りに唾を飲み込むと上下に動くしこりを感じたり、上記の症状があればひとりで悩まず、受診し安心されることをお勧めします。

金田病院・常勤医師のご紹介

内科

川西副院長：内科一般、呼吸器、感染症、糖尿病、循環器、消化器等

海野医長：内科一般、血液、呼吸器、消化器等

鎌尾医長：内科一般、呼吸器、消化器、肝臓（B型、C型肝炎）、糖尿病、アレルギー・喘息等

外科

金田院長：外科一般、甲状腺、消化器、人間ドック、健康診断、産業保健等

松本医長：外科一般、乳腺、消化器、腹腔鏡手術（胆嚢、大腸、胃）、末梢血管、兎径ヘルニア、肛門等

三村医長：外科一般、消化器、肝・胆・膵、腹腔鏡手術（胆嚢、大腸、胃）等

脳神経外科

遠部副院長：脳神経外科一般、脳梗塞（t-PA治療）、脳出血、リハビリ、緩和医療、嚥下機能栄養管理等

木下医長：脳神経外科一般、脊椎・脊髄（椎間板ヘルニア）、脳梗塞（t-PA治療）、脳出血、救急医療等

整形外科

坂田医長：整形外科一般、四肢外傷（骨折）、スポーツ外傷・障害、関節鏡手術（半月板損傷）、リハビリ等

コンシェルジュ日記

事務部 コンシェルジュ

細田 麻衣子

定期的に受診に来られるAさんは、車いすを利用されています。いつもはご家族の方と一緒なのですが、その日はおひとりで来られました。

「今日もいつものように家族が連れてきてくれる予定だったのですが、急に都合が悪くなりまして。日を改めて受診しようと話している時に、あなたのことを思い出してひとり来てみました。どうなるかちよつと不安ですが、よろしくお願ひしますね。」玄関で最初におっしゃった言葉でした。

実は、Aさんが来院される少し前に、おひとり受診される旨のお電話をご家族の方からいただいたていました。不安に思われているのはご本人だけではなく、ご家族の方も同じでした。

その不安を安心にかえていただけるように、私はできる限りのお手伝いをさせていただこうと心に決めていました。Aさんがおひとり受診されていることを、担当看護師や受付・会計スタッフに伝えて連携を図り、診療時にご不便のないように配慮しました。

お帰りの際、「本当にありがとうございます。いつも家族



コンシェルジュの細田です。私が皆様のご案内をいたします。

と来るときと同じように、安心して受診できました。助かりましたよ。」と、私の手をしっかりと握って喜んでくださいました。その手の温もりと笑顔から『こちらこそありがとうございます。』と、感謝の気持ちでいっぱいになったのは、私自身でした。これからはお一人おひとりに寄り添い、より身近なコンシェルジュとしてお手伝いさせていただきたいと思えます。

編集後記

「検査科や放射線科のように、いろいろな科の紹介を読んで、連携の意味がよくわかりました。」このようなお声をいただきました。科のことも知りたい。」とのご意見にお応えしてのシリーズです。これからも引き続きご紹介いたします。

地域医療連携室長

社会福祉士

経営企画室主任

電算室主任

田中聖隆

有本紀子

長田寛子

リハビリテーション科のご紹介

リハビリテーション科 室長 丸山 謙二

リハビリテーションの語源は『re』=再び、『habilis』=適する、『ation』=こと、すなわち、「再び適すること」という意味があります。私たちリハビリテーション科では、病気や外傷によりさまざまな障害をお持ちの方々に「再び適する状態に戻っていただく」ために、医学的な専門技術と、おもてなしの心で皆様のお手伝いをさせていただきます。

当院では、脳血管や運動器の病気やケガなどによる障害に対して、リハビリテーション科専属の医師等の指導のもとに、理学療法士4名（うち介護支援専門員3名、福祉住環境コーディネーター2名）と、作業療法士1名、リハビリテーション助手2名が各科スタッフと連携をとりながら総合的なりハビリテーションを行っています。より良い状態で早期



に家庭や社会に復帰していただくことを目指し、皆様の復帰サポートチームとなつて、お一人おひとりに最適なリハビリテーションを行っています。◎理学療法は、基本的な運動能力の改善と生活活動への復帰を目標としています。電気・光線・温熱・水・マッサージなどの物理的エネルギーを活用して、痛みや緊張を和らげるとともに、

身体的機能の改善を図ります。また、運動療法により筋力・関節の動き・体力の向上を目指します。

◎作業療法は、住み慣れた地域で、皆様に自立した生活を送っていただくためのお手伝いをいたします。

お持ちの障害の状態を把握し、低下した機能が回復するための筋力強化や関節運動、指の細やかな動きのサポート等をいたします。また、食事や身だしなみ、トイレや入浴など実際の生活に必要な行動についても、それぞれの方に合った方法で援助いたします。

当院では脳血管疾患、整形外科疾患などの専門的な治療と共に、その後の日常生活能力の向上のために、発症後超早期からのリハビリテーションに努めています。平成18年度には、81%の方が立派に家庭復帰なさいました。私たちは、皆さまにご努力の成果を実感していただけるリハビリテーションを目指しています。お気軽に主治医あるいはリハビリテーション科医師にご相談ください。

特定医療法人緑社会 理念

奉仕 仁愛 誠実 研鑽 調和



金田病院 理念

- 一、金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々にわかりやすい医療提供体制を構築します。
- 二、金田病院の医療提供体制は、「急性期医療」を基幹とし、「亜急性期医療」、「医療療養病床」を運営し、地域医療に貢献します。

基本方針

- 一、金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 二、金田病院は、地域の人々と、ゆるぎない信頼関係を築いていきます。
- 三、「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 四、根拠に基づく公平な医療を提供します。
- 五、診療は、医師の説明と、患者さまの選択に基づいて行います。